お問い合わせ先
イー・モバイル　カスタマーセンター

■ イー・モバイル携帯電話から：157（無料）

■ 一般電話から：0120-736-157（無料）
※他社の携帯電話、PHS からもご利用いただけます。

■ 海外から：+81-3-6831-3333（有料）
受付時間 9：00 ～ 21：00（日本時間／年中無休）
※間違い電話が多くなっております。番号をよくお確かめの上、おかけください。
※一部の光電話、IP 電話等からはご利用いただけない場合があります。

ホームページ　http://emobile.jp/

この文書の情報は予告なく変更されることがあります。

発売元　イー・アクセス株式会社
（製造元　Dell Inc.）

2011 年 12 月第 1 版

GS01

かんたんガイド

はじめに

このたびは、GS01（以下、本機）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この「かんたんガイド」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
スマートフォンは最新のソフトウェアやアプリケーションを確認するための通信、データの同期をするための通信など、一部自動的に通信を行う仕様となっています。データを自動で同期することで常に最新のデータを確認したり、より便利にご利用いただくことができますが、自動で通信が行われた場合もデータ通信料が発生します。

■ 本機の取扱説明書

本ガイドで紹介していない機能や操作方法につきましては、取扱説明書をお読みください。
取扱説明書（PDFファイル）は、イー·モバイルのホームページからご覧いただけます。
http://emobile.jp/

■ 安全上のご注意

本機をご使用になる前に「ご利用いただくにあたって」(P.33)をお読みのうえ、正しくお使いください。

■ 法令順守に関する情報

本機の法令順守に関する情報については、ホーム画面で☰▶「設定」▶「端末情報」▶「認証情報」と操作してご確認いただけます。

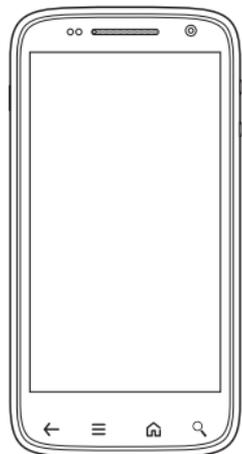
[注意事項]

- 本機はEM chip <micro>対応端末です。通常のEM chipではご利用いただけません。

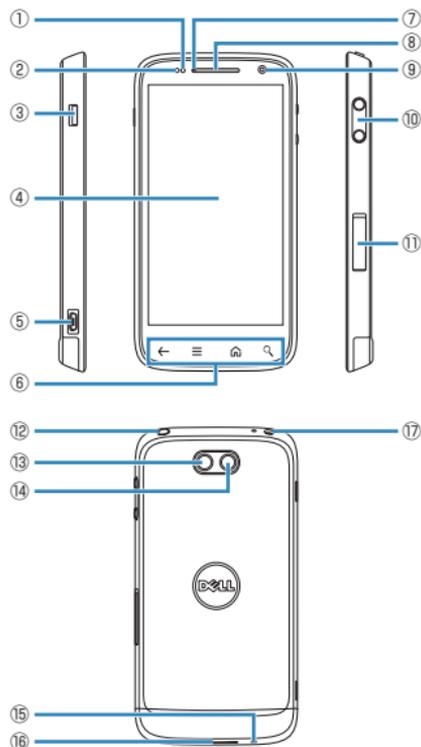
お買い上げ品の確認

お買い上げ品には、本機と付属品が同梱されています。
次の製品がすべて揃っていることをご確認ください。

- GS01本体（保証書含む）

- ACアダプタ（PCS01GSZ10）（保証書、USBケーブル、ACプラグ含む）
- かんたんガイド（本書）
- イヤホンマイク（試供品）
- 安全、環境、および規制情報

※ 本機には電池が内蔵されています。お客さまによる内蔵電池の取り付け／取り外しはできません。

ご使用前の準備

各部名称／基本キー操作

① 明るさセンサー
周囲の明るさを感知して、ディスプレイ照明の明るさを自動で調節します。
② 近接センサー
通話時など、本機を顔に近づけたとき画面のタッチパネルが誤作動しないようにします。
③ マナースイッチ
スイッチをディスプレイ側にすると、マナーモードに切り替わります。
④ ディスプレイ（タッチパネル）
静電気を使って指の動作を感知することでタッチパネルを操作する仕様となっています。
⑤ microUSB端子
⑥ 戻るキー：←
- 1つ前の画面に戻ります。

メニューキー：≡
- 現在の画面またはアプリケーションで実行できるメニューを表示します。

ホームキー：⌂
- ホーム画面を表示します。
長押しすると、最近使用したアプリケーションのウィンドウを開きます。

検索キー：🔍
- クイック検索ボックスを起動します。本機内やウェブページの情報を検索できます。

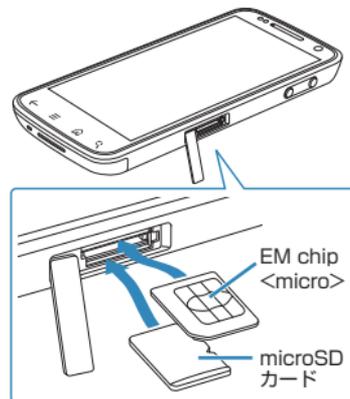
⑦ 充電ランプ
⑧ 受話口
⑨ フロントカメラ
⑩ 音量キー
⑪ microSIM／microSDカードスロット
⑫ 電源キー
⑬ ライト
⑭ カメラ

⑮ 送話口
⑯ スピーカー
⑰ イヤホン端子

EM chip <micro>（microSIMカード）とmicroSDカードを取り付ける

EM chip <micro>、microSDカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。

1 **microSIM／microSDカードスロットのキャップを開け、EM chip <micro>を、金属面を上にして切り欠きの向きに注意し、「カチッ」と音がするまで矢印の方向に奥までまっすぐ差し込む**

2 **microSDカードを、金属面を下にして挿入方向を確認し、「カチッ」と音がするまで矢印の方向に奥までまっすぐ差し込む**

- EM chip <micro>（上段）とmicroSDカード（下段）の取り付け位置にご注意ください。

充電する

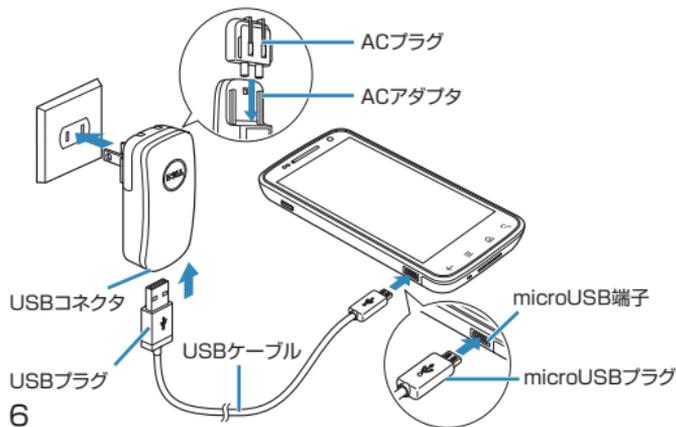
お買い上げ時、本機は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったら充電してお使いください。
本機を充電するときは、必ず同梱のACアダプタとUSBケーブルを使用してください。

■ ACアダプタで充電する場合

1 本機のmicroUSB端子にUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

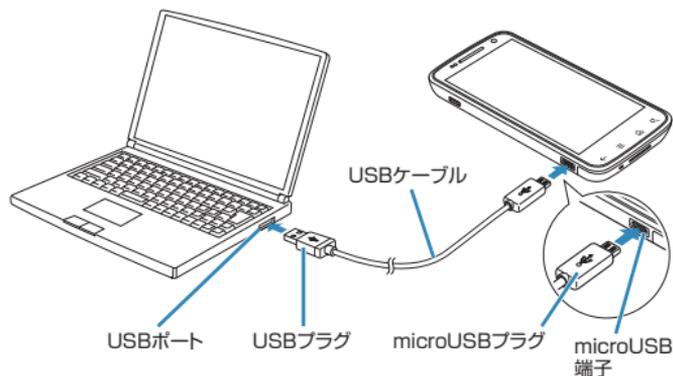
2 ACアダプタのUSBコネクタにUSBケーブルのUSBプラグを差し込む

3 ACアダプタにACプラグを取り付け、プラグを家庭用ACコンセントに差し込む

4 充電が完了したら、家庭用ACコンセントからACアダプタのプラグを抜き、USBケーブルを本機とACアダプタから抜く

■ パソコンで充電する場合

1 本機のmicroUSB端子にUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

2 パソコンのUSBポートにUSBケーブルのUSBプラグを差し込む

3 充電が完了したら、USBケーブルを本機とパソコンから抜く

❖お知らせ

- 本機の内蔵電池は取り外すことはできません。本機をリセットする場合は、音量キー（下）と電源キーを約15秒間押し続けてください。

ディスプレイの使いかた

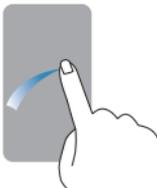
ディスプレイは、指で直接触れて操作します。触れかたによってさまざまな操作ができます。

- ディスプレイは指で軽く触れるように設計されています。
- 指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はディスプレイに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールを貼っての操作

■ タップ／ダブルタップ

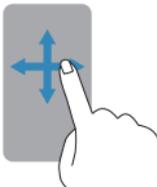
項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。

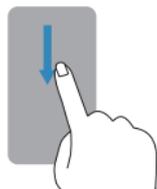
■ フリック

画面を指ですばやくはらうように操作します。

■ ピンチ

ウェブページや静止画などの表示中に、画面を2本指で開くと表示を拡大、つまむと表示を縮小することができます。

■ スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

■ ドラッグ

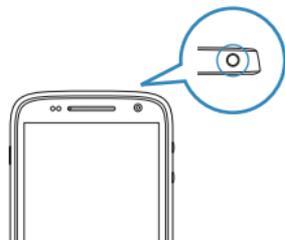
アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

■ ロングタッチ

アイコンやキーに触れた状態を保ちます。

電源を入れる（初期設定）

電源を入れる

1 電源キー（長押し）

画面ロック解除画面が表示されます。

2 を右にドラッグ

■ 電源を切る

1 電源キー（長押し）

携帯電話オプションメニューが表示されます。

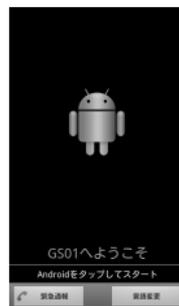
2「電源を切る」▶「OK」

初期設定

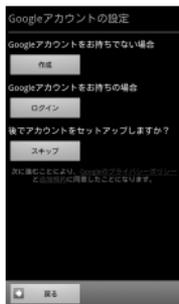
はじめて電源を入れたときは、初期設定としてGoogleアカウントなどの設定を行います。電源を入れてしばらくすると、Androidのマークが表示されます。
Googleアカウントを設定すると、「Gmail」や「マーケット」などGoogleが提供するオンラインサービスを利用できます。初期設定でGoogleアカウントの設定をスキップした場合、「Gmail」や「マーケット」などをはじめて起動したときにGoogleアカウント設定画面が表示されます。

- ここでは、EM chip <micro>が取り付けられた状態で、はじめて電源を入れたときの初期設定を説明します。
- Googleアカウントの設定は「作成」を例に説明しています。

■ 初期設定開始

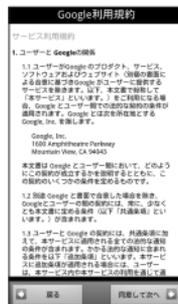
1 Androidのマークをタップ

■ Googleアカウントの設定

1 「作成」

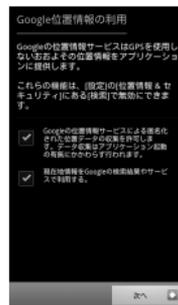
- Googleアカウントをお持ちの場合は、「ログイン」から設定してください。

2 名前、ユーザー名を入力▶「次へ」

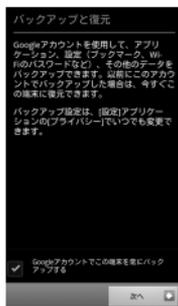
3 パスワードを入力▶もう一度パスワードを入力▶「次へ」

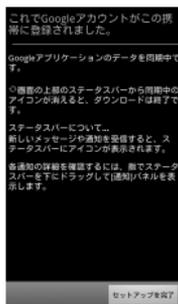
4 質問を選択し、答えを入力▶予備のメールアドレスを入力▶「作成」

5 Google利用規約を確認▶「同意して次へ」

6 表示されている文字を入力▶「次へ」

■ Google位置情報の利用

1 位置情報を設定▶「次へ」

■ バックアップと復元

1 データのバックアップを設定▶「次へ」

■ 初期設定完了

1「セットアップを完了」

初期設定が完了し、ホーム画面が表示されます。

基本操作

文字を入力する

文字を入力するときは、連絡先の登録やメール作成など、文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使用します。

■ ソフトウェアキーボードを切り替える

日本語入力では「OpenWnnフリック対応」で「12キーキーボード」（かな入力）、「QWERTYキーボード」（ローマ字入力）の2種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。

1 文字入力欄をタップ

をタップするたびに、「半角英字（QWERTYキーボード）」→「半角数字（QWERTYキーボード）」→「ひらがな漢字（12キーキーボード）」の順に入力できる文字種とキーボードが切り替わります。

- 英数字も12キーキーボードで入力したいときは、ホーム画面で☰▶「設定」▶「言語とキーボード」▶「OpenWnnフリック対応」▶「英字QWERTYキーボード」／「数字QWERTYキーボード」で「自動切り替え無効」を選択します。

《12キーキーボード》

2 文字あA1をロングタッチ▶⌨

QWERTYキーボードに切り替わります。

《QWERTYキーボード》

もう一度文字あA1をロングタッチして、📱をタップすると、12キーキーボードに切り替わります。

❖お知らせ

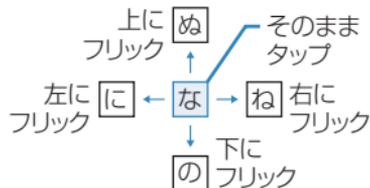
- 入力したかな文字に対して予測変換候補が表示され、入力したい語句をタップして入力できます。
- DELをタップすると、カーソル位置の前の文字を削除します。
- 記号をタップすると、半角記号／全角記号／顔文字／絵文字の一覧を表示して入力できます。
- 12 キーキーボードでは、上下左右にフリック（画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作）して各行の文字を入力できます。キーを繰り返してタップすることなく、文字を入力できます（フリック入力）。
- 文字入力を中断して元の画面に戻るときは、←を押します。

■ 12キーキーボードでのフリック入力について

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

《フリック入力画面》

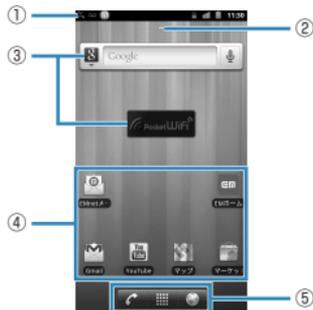
例：「な」行を入力する場合

「な」は指をフリックせずタップだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

- 大文字／小文字の切り替えや濁点の付加は、大⇔小をタップして行います。

■ 12キーキーボードでのトグル入力について

12キーキーボードでトグル入力（同じキーを複数回タップして文字を入力する方法）で文字を入力したいときは、ホーム画面で☰▶「設定」▶「言語とキーボード」▶「OpenWnnフリック対応」▶「トグル入力機能」で「フリック／トグル併用」または「トグル入力のみ」を選択します。

ホーム画面の見かた

ホーム画面は、アプリケーションを使用するためのスタートポイントです。

① ステータスバー
通知アイコンやステータスアイコンを表示します。
② ホーム画面位置
ホーム画面の位置と、拡張ホーム画面の数を示します。
③ ウィジェット
ウィジェットの起動や操作を行います。
④ ショートカット
アプリケーションを起動したり、本機の設定項目を表示したりします。
⑤ クイックボタン
電話を起動
アプリケーション画面を表示
ブラウザを起動

電話をかける

1 ホーム画面で ▶「電話」タブ
電話番号入力画面が表示されます。

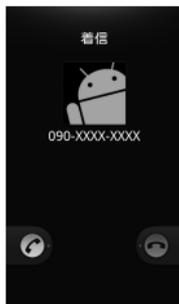
2 電話番号（市外局番を含む全桁）を入力
- 通話履歴や連絡先から相手の電話番号を選択して、電話をかけることもできます。

3

4 通話が終わったら

電話を受ける

1 電話がかかってくる
電話着信画面が表示されます。

2 ⓒを右方向にドラッグ

3 通話が終わったら

❖お知らせ

- 着信中に音量キー／電源キーを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。
- 電源キーを押して着信音やバイブレーションを停止した場合は、画面が消灯します。画面を点灯するには、電源キーを押します。

自分の電話番号を確認する

自分の電話番号（自局電話番号）を確認します。

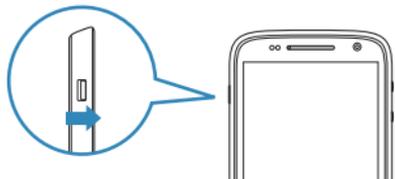
1 ホーム画面で☰▶「設定」

2「端末情報」▶「端末の状態」▶「その他の情報」
「電話番号」の下に自分の電話番号が表示されます。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することにより、動画／音楽の再生音やアラーム音以外の音を鳴らさないようにできます。

1 マナースイッチをディスプレイ側にする

ステータスバーにが表示されます。

❖お知らせ

- マナースイッチを背面側にすると、マナーモードを解除できます。
- マナースイッチがディスプレイ側になっているときは、マナースイッチ以外でマナーモードを解除することはできません。
- マナースイッチが背面側になっているときは、電源キー（長押し）▶「マナーモード」でマナーモードを設定／解除できます。

電話帳

連絡先に登録する

1 ホーム画面で ▶「連絡先」

連絡先一覧画面が表示されます。

2 ≡▶「連絡先を新規登録」

必要な項目を入力します。

- 上方向にドラッグすると、住所などの情報を入力できます。

3「完了」

microSDカードから連絡先を取り込む（インポート）

1 ホーム画面で ▶「連絡先」

2 ≡▶「インポート／エクスポート」

3 「SDカードからインポート」

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

メール

EMnetメールを利用する

EMnetメールのアドレス（@emnet.ne.jp）を使用して、メッセージや画像などの送受信ができ、絵文字も利用できます。「EMnetメール」アプリケーションを利用すると、EMnetメール／SMSを送受信でき、統合されたメールボックスで管理できます。

- EMnetメールを利用するには別途EMnetへの加入が必要です。ただし、SMSのみを利用の場合はその限りではありません。

■ EMnetメールを作成／送信する

1 ホーム画面で「EMnetメール」▶「MMS作成」

2 To、件名、メッセージを入力

3 必要に応じてファイルを添付

- ≡▶「添付」と操作し、添付方法を選択します。カメラを起動し写真や動画を撮影して添付することもできます。

4「送信MMS」

■ SMSを作成／送信する

1 ホーム画面で「EMnetメール」▶「SMS作成」

2 To、メッセージを入力

- Toは携帯電話番号を入力します。

3「送信」

■ EMnetメールを確認する

1 EMnetメールを受信

ステータスバーに［アイコン］が表示されます。

2 ステータスバーを下向きにドラッグ

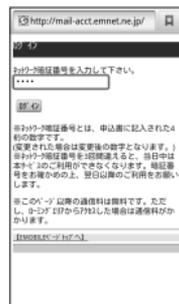
3 受信したEMnetメールをタップ

EMnetメールのアドレスを変更する

- EMnetメールのアドレスを変更するには、APN（アクセスポイント）が「EMnet」に設定されていることが前提となります（P.30）。
  初期設定（プロトコル制限なし(N)）がスマートフォン向けに最適化されていますので、メールアドレス変更後APNを初期設定に戻していただくことを推奨します。
- メールアドレスの初期設定は、@マークより前の部分はランダムな英数字の組み合わせとなります。
- @マークより前の部分は文字列を自由に組み合わせて設定することが可能です。
- メールアドレスを変更する場合、@マークより前の部分は3文字以上に設定する必要があります。

1 ホーム画面で「EMnetメール」

2 ≡▶「設定」▶「WEB設定」

3 ネットワーク暗証番号を入力▶「ログイン」

4「メールアドレス変更」▶登録したいメールアドレスを入力

- 第3希望まで入力できます。

5「確認」

表示されたメールアドレスでよければ「決定」

6 ⌂を押して完了

アクセスポイントをEMnetに変更する

1 ホーム画面で≡▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」

2「アクセスポイント名」

現在設定されているAPN（アクセスポイント）が表示されます。

3「EMnet」の「●」をタップ

- 「●」以外の部分をタップすると、アクセスポイントの編集画面が表示されます。アクセスポイントの編集画面が表示されたときは、←を押してAPN一覧画面に戻り、改めて「●」をタップしてください。

4 ⌂を押して完了

Wi-Fiを利用する

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用する

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用すると、他の通信機器から本機の3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 通信にはパケット通信料がかかりますので、ご注意ください。
- 他の通信機器から本機に同時に接続できるのは、最大5台までです。

1 ホーム画面でPocket WiFi

ステータスバーにが表示され、Pocket WiFi が有効になります。

ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認する

お買い上げ時は以下の設定となっています。
ネットワークSSID：GS01-PocketWiFi
セキュリティ（パスワード）：WPA2 PSK（8桁の数字）

1 ホーム画面で≡▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「テザリングとPocket WiFi」

2 「Pocket WiFi設定」▶「Pocket WiFiのセキュリティ設定」

3 ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認します

- 「パスワードを表示」にチェックを入れると、パスワードが表示されます。
- ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更し「保存」をタップすると設定を変更できます。

ご利用いただくにあたって

- 本機はイー・モバイルの提供するサービスエリア、および国際ローミングのサービスエリアにおいてご使用になれます。
  This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the international roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。あらかじめご了承ください。
- 本機は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本機は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- EM chip <micro>（microSIMカード）を取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときは登録している情報が消失するおそれがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。
- 以下の注意事項は、ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されていますので、よくお読みの上、必ずお守りください。

- 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通話や通信が困難となり、お客さま、または第三者の方が受けられた損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 絵表示の説明

絵表示とその意味は次のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。

危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の意味

(禁止マーク)	してはいけないことを表しています。
(指示マーク)	しなければならないことを表しています。
(注意マーク)	気をつける必要があることを表しています。

GS01（DELL Streak Pro）の取り扱いについて

危険

 水や火の中に投入したり、加熱したりしないでください。

 本機から液が漏れたり、異臭がするときには、すぐに使用をやめて、お問い合わせ先（裏表紙）にご連絡ください。

 内蔵電池から漏れた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。失明するおそれがあります。

警告

 必ず専用の機器をご使用ください。
指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。

 車両の運転中に本機を使用しないでください。
交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

 歩行中の使用は、注意力が散漫になりやすいので、周囲には十分ご注意ください。

 航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。

 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm 以上離して携行および使用してください。
電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切り、本機の使用を控えてください。
電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では電源を切り、本機を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切り、本機を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの措置を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

※影響を受けるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

本機について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- 分解、改造をしないでください。なお本機の改造は電波法違反になります。
- 直射日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。本機が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
- ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。
- 濡れた手で触らないでください。
- 浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。
- コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
- 水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。
- 強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 本機に無理な力を加えないでください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本機の電源を切り、お問い合わせ先（裏表紙）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

万が一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜き､本機の電源を切り､お問い合わせ先（裏表紙）にご連絡ください。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。
落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

充電には、付属のACアダプタおよびUSBケーブル（PCS01GSZ10）以外のものを使用しないでください。

内蔵電池から液が漏れたり、異臭がしたりするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。

充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。
安全走行を損なうおそれがあります。

長時間の連続使用などで本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

故障の原因となりますので、ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。

小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

クレジットカードなどを本機に近づけないでください。
クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用を止め、医師の診断を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

充電は必ず周囲温度-10℃～55℃の範囲で行ってください。充電方法については、取扱説明書をよくお読みください。

内蔵電池内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

本機は以下に記載の材料の使用や表面処理を施されております。

使用箇所	材質／表面処理
外装／ケース	プラスチック／TPU塗装
アンテナカバー	プラスチック
音量キー	ステンレス鋼
マナースイッチ	ステンレス鋼
ディスプレイ／タッチパネル	ガラス
カメラリング	プラスチック／不連続蒸着
電源キー	プラスチック／不連続蒸着
受話口	PC樹脂
スピーカー	PC樹脂
microSIM／microSDカードスロット	プラスチック

ACアダプタの取り扱いについて

危険

お客さまによる改造や分解・修理はしないでください。

警告

このACアダプタ（PCS01GSZ10）を使用できるのはGS01（DELL Streak Pro）です。その他の機器で使用しないでください。

付属のACアダプタはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本機から外しておいてください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本機の電源を切り、お問い合わせ先（裏表紙）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。
ACアダプタ：100-240V

濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

ACアダプタを水やその他の液体につけたり、濡らしたりしないでください。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

ACアダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

ACアダプタのコネクタを針金などの導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）でショートさせないでください。
感電、故障、発火の原因となります。

落雷のおそれがあるときは、落雷による感電、火災の防止のため、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

注意

ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

周囲温度-10～55℃、湿度5～95%の範囲でご使用ください。

直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。

ほこりの多い場所に置かないでください。

落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

重いものを載せないでください。

電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。

布などでくるまないでください。

USBケーブルの取り扱いについて

危険

分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

警告

コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

USBケーブルは、対応機種以外にはご使用にならないでください。
対応機種以外のものを接続した場合、破損の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
故障や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
故障や火災の原因となります。

端子に導電性異物（金属片､鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。
また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

注意

コードの根元部分を無理に曲げないでください。

小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。
故障の原因となります。

USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずにコネクタを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

USBケーブルのコードの上に重いものを載せたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

EM chip <micro>（microSIMカード）の取り扱いについて

警告

EM chip <micro>を本機へ取り付けや取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。また、取り付け、取り外しの際に過剰な力を加えますと故障の原因になりますので、ご注意ください。

注意

EM chip <micro>のIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触はお避けください。

分解や改造はしないでください。データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

火のそばやストーブのそばなど高温の場所での使用および放置はしないでください。
溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

EM chip <micro>は当社が指定した機器にてご使用ください。指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機を使用中、EM chip <micro>自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。

高温・低温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。
故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧となる容器にEM chip <micro>を入れないでください。
溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

小児や乳幼児が誤ってEM chip <micro>を飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chip <micro>は小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。

その他、本来の用途以外の方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

イヤホンマイクの取り扱いについて

危険

分解、改造しないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。
使用場所、取り扱いにはご注意ください。

警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、入れないでください。
故障や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
故障や火災の原因となります。

注意

イヤホンマイクは、対応機種以外にはご使用にならないでください。
対応機種以外のものを接続した場合、破損の原因となります。

小児が使用する場合は、保護者が本書の内容を教えてください。また、使用中においても、本書どおりに使用しているかどうかご注意ください。けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。故障の原因となります。

イヤホンマイクを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、破損の原因となります。

ご利用上のお願いとご注意

■共通

- 本機は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
  - 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
  - 冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
- エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
- 汚れたり、水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
- 無理な力がかかるような場所に置かないでください。
- 荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■GS01（DELL Streak Pro）

- 使用中に本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
- お客さまご自身で本機に登録された情報内容などは、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ズボンやスカートの後ろポケットなどに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
- 本機を直射日光の当たる所に放置しないでください。変色を起こす場合があります。
- 画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。画面などを傷めることがあります。
- 本機の上に書類などを載せないでください。誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
- 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落としたりするなど）によっては、破損の原因となります。
- 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。
- はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 本機の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

■ ACアダプタ

- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、コネクタ、端子、プラグを変形させないでください。

■ EM chip <micro>

- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お客さまご自身でEM chip <micro>に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- EM chip <micro>を本機に取り付けるときや取り外しのときに注意してください。必要以上の力をかけると、手や指を傷つけたり、EM chip <micro>の破損の原因となります。
- EM chip <micro>は当社指定のものを使用してください。指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。
- IC部は傷つけたり、ショートさせたりしないでください。故障の原因となります。
- 本機を使用中、EM chip <micro>自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

■ カメラ

- カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
- お客さまが本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。
  撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
- 販売されている書籍類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

■ microUSB端子／イヤホンマイク端子

- microUSB端子／イヤホンマイク端子にゴミやほこり、金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記録内容の消失の原因となります。

■ 液晶表示

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 画面や本機に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

注意事項

取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがあります。
取扱説明書では内容の正確さを期するためにあらゆる努力をしておりますが、取扱説明書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示、黙示を問わず、内容を一切保証するものではありません。
無線機器を正しく安全にご使用いただくために、「安全上のご注意」および「ご利用上のお願いとご注意」「Bluetoothおよび無線LAN使用に関するご注意」をよくお読みください。

Bluetoothおよび無線LAN使用に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。

周波数帯域について

■ Bluetooth

2.4 FH 1

2.4 ：周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。

FH ：変調方式がFH-SSであることを示します。

1 ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

■■■ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを示します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ 無線LAN

2.4 DS/OF 4

2.4 ：周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。

DS/OF ：変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。

4 ：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 無線LANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限される場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件をご確認のうえ、ご利用ください。
- 電波法により5GHz帯は屋内使用に限ります。

良好な通信のために

- 他のBluetooth機器とは見通しの良い場所で通信してください。障害物や建物の構造によっては通信距離が短くなる場合があります。
- 電子レンジからの影響を受けやすいので、少なくとも3m以上離れた場所でご使用ください。また、AV機器・OA機器などの電気製品からは2m以上離して通信をしてください。正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの受信障害（映像や音声にノイズが発生するなど）の原因になったりする場合があります。
- 他の無線機や、放送局の近くでは正常に通信ができない場合があります。このような場合には通信場所を変更してください。
- 他のBluetooth機器との間に金属物や、鉄筋、コンクリートなどがある場合には電波が届かずに通信できない場合があります。

無線LANに関するお願い

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

無線LANとBluetoothとの干渉について

802.11b/g/nの無線LAN機器と、本機などBluetooth機器は同一の2.4GHz帯を使用するため、近い場所に無線LANのアクセスポイントや端末があり、運用されている場合は、Bluetooth機器との間で電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不良になる場合があります。このような場合は、本機を離れた場所でお使いいただくか、または使用していない機器の電源を切るなどにより電波障害による干渉を防ぐようにしてください。

セキュリティに関するご注意

- 本機のBluetooth通信機能には、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetoothによる通信を行うときは十分ご注意ください。
- Bluetoothを使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合次のような問題が発生する可能性があります。
  - 通信内容を盗み見られる
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
  - 不正に進入される
    悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

比吸収率（SAR、Specific Absorption Rate）

本機GS01は、国際的指針で推奨されている無線波への露出の限界を超えないよう設計してあります。これらの指針は、独立の科学組織ICNIRPが作成したものであり、年齢および健康に無関係にすべての人を確実に保護をするよう策定した安全限度が含まれています。
これらの指針は、比吸収率（SAR、Specific Absorption Rate）として知られる測定単位を使用しています。携帯電話機のICNIRP SAR限界は、組織10g当たり2W/kgです。また米国連邦通信委員会（FCC)が定めるSAR限界は、組織1g当たり1.6W/kgです。
SARは携帯電話機の送信電力を最大にして測定するため、実際のSARはより小さい値となります。これは携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているためです。
本機のSAR値は、ICNIRP SAR: 0.584W/kg（10g)、FCC SAR: 1.28W/kg（1g）です。また日本国が定めた方法に従い、本機の送信電力を最大にして測定された最大値は0.585W/kg（10g）となります。

免責事項について

- 洪水、地震などの自然災害および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を失ったために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した静止画、動画データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがございますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 連絡先など、お客さまが登録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。登録された内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容はあらかじめメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

保証とアフターサービス

保証について

お買い上げいただくと、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「販売店」の記載がされているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。「お買い上げ日」や「販売店」の記載がない場合や、納品書または領収書等にて「お買い上げ日」や「販売店」が特定できる書類がない場合、改ざんのある場合には保証対象外となりますのでご注意ください。保証内容については、保証書に記載されています。

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客さままたは第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理について

取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をお読みになり、もう一度お調べください。それでも正常に戻らない場合には、お問い合わせ先（裏表紙）までご連絡ください。

- 保証期間中の修理
  保証書の記載内容に基づいて修理致します。
- 保証期間経過後の修理
  修理によって使用できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。
- 本機は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、連絡先など大切なデータは控えを取っておかれることをお勧めします。
- 故障または修理の際に、本機に登録した情報内容または設定した内容が消失・変化した場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解・改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、お問い合わせ先（裏表紙）までご連絡ください。

修理用部品について

本機および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後3年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。